

高次脳機能障害の方の家族のみなさま 障がいについて一緒に学びませんか

高次脳機能障害は、脳の病気や事故のあとに、「以前できていたことができなくなった」、「性格が以前と全く違う」など、病院を退院してから御家族が困惑することが多く、また身体には障害がないため、「みえない障害」と言われています。

些細なことで腹を立てる、ついさっき言ったことを忘れてしまう、など大切な家族が突然変わってしまい、ひとりで悩みを抱え込んでいませんか。

高次脳機能障害のある方の御家族が、この障害について一緒に学び、普段の生活や不安なこと、困りごとに関する工夫について、自由に話す交流会をしています。また交流会とは別に相談を随時受け付けております。ぜひお気軽にお問い合わせください。

日時と内容

	開催日時	講話テーマ	講師
第1回	8/20(火) 13:30~15:00	高次脳機能障害を正しく理解し対応するために	宮城県リハビリテーション支援センター職員(高次脳機能障害支援コーディネーター)
第2回	10/8(火) 13:30~15:00	高次脳機能障害の退院支援 ～社会参加につながる福祉制度～	仙台リハビリテーション病院 地域医療相談室 医療相談員 阿部 洋子 氏
第3回	12/6(金) 13:30~15:00	当事者と家族の話を聴いてみよう	高次脳機能障害のある当事者 とその家族

場 所

宮城県大崎合同庁舎 2階栄養指導室

〒989-6117 大崎市古川旭4丁目1-1

(イオン古川店さんの東隣です)

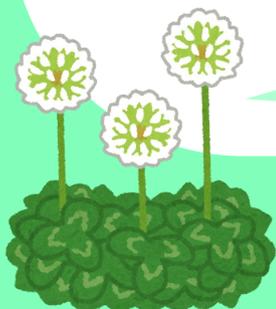
対象者

高次脳機能障害がある方（疑いのある方も含め）の御家族や支援者

お電話で、開催日の1週間前までに、
下記申込み先にお申込みください。
参加費は無料です。

申込み・問合せ先 宮城県北部保健福祉事務所 母子・障害第二班

Tel 0229-87-8011 Fax 0229-23-7562



第1回 令和6年8月20日（火）

テーマ：高次脳機能障害を正しく理解し対応するために

講師：リハビリテーション支援センター職員

内容：高次脳機能障害により、日常生活や社会生活にどのような問題が起きるのか、その背景にある障害の特性を理解し、対応方法について学びます。

第2回 令和6年10月8日（火）

テーマ：高次脳機能障害の退院支援～社会参加につながる福祉制度～

講師：仙台リハビリテーション病院 医療相談員 阿部 洋子氏

内容：在宅復帰に向けた具体的な退院支援について、おもに障害者総合支援法と介護保険法に基づくサービスを中心に学びます。

第3回 令和6年12月6日（金）

テーマ：当事者と家族の話を聴いてみよう

講師：高次脳機能障害のある当事者と その家族

内容：突然、大切な家族が倒れ、さらに高次脳機能障害と診断されて……。当時の大変な思いから、当事者である夫との現在の生活での工夫に至るまでお話しいただきます。

参加された方々の感想

■家族として、日々余裕がないので、高次脳機能障害にどのように対応したらよいのか、退院前に学べたらよいと思って参加しました。障害がどのように回復していくのか分かり、希望が持てました。

■高次脳機能障害者が、どのようなサポートを受けられるのかが分かりました。なかなか福祉的なサポートの利用につながらないので、家族としてどのように背中を押してあげられると良いか悩んでいます。

ヒントが見つかるかもしれません

ぜひ 一緒にお話ししてみませんか！



申込み・問合せ先

宮城県北部保健福祉事務所母子・障害第二班

Tel 0229-87-8011

Fax 0229-23-7562